



交通安全研究に関わるgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2021年03月05日 ～2021年03月15日	日本	ラフバラー大学	<ul style="list-style-type: none"> ・機械制御システム学科 ・学部4年生 ・修士1年生 ・修士2年生 	(芝浦工業大学) 学生16名、TA3名、 教員1名 (ラフバラー大学) 学生3名、教員1名	伊東 敏夫 (機械制御システム学科)

Team 1: Cockpit designs for future automated Vehicle

Objective

How to realize safe and comfort?

Safe



- ・ Smooth take-over
- ・ Clear viewing area
- ・ Prevent looking aside

Comfort



- ・ In-car entertainment
- ・ Easy operation system
- ・ Spacious car interior

7



SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY



Loughborough University

図1 チーム1のDR資料

2021年3月5日から15日までの11日間、ラフバラー大学デザイン学部の交通安全研究センターで実施している3テーマについて、参加学生を3チームに分け、それぞれのチームがそれぞれのテーマに取り組みました。3テーマは、自動運転時代のコックピットデザイン、自動運転が都市交通に与えるインパクト、自動運転車の追越仕様の検討です。オンラインでの実施のため、ラフバラー大学との交流時間帯は日本時間の午後6時以降と、夜遅くまで続く活動でした。4日目に取組テーマの初回DR、7日目に中間DR、15日目に最終DRを行い、全活動をオンラインで完了することができました。

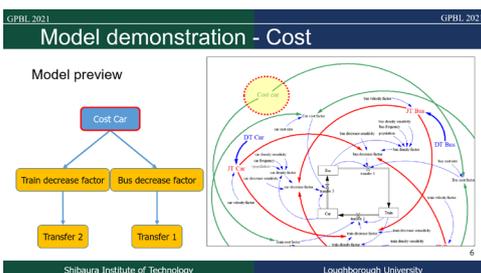


図2 チーム2のDR資料

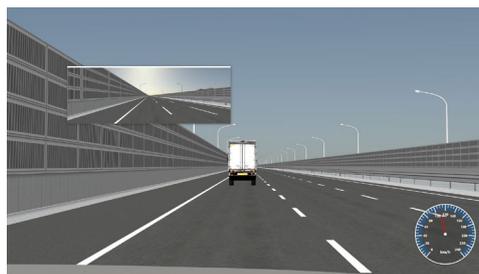


図3 チーム3のDR資料



図4 オンラインDR後の記念撮影